

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある

専修学校 #知る専

メールマガジン 第5号

※本メールマガジンは、事務局に情報提供のご依頼をいただいた方及びご登録いただいた方に送付しています。お心当たりのない方は、事務局までご一報ください。

<<< 本日の配信内容 >>>

■リレーコラム [谷口 優 (株式会社宣伝会議 出版担当・取締役 社会情報大学院大学 准教授)]

■本日の事業成果紹介 [専修学校における先端技術の利活用とは?]

■文部科学省からのお知らせ

1. 【重要】新型コロナワクチン職域接種の受付開始について
2. 【共有】日本医師会「新型コロナワクチン接種人材確保相談窓口」を活用した医療人材の確保について
3. 【連絡】専修学校における抗原検査簡易キットの活用について (令和3年6月17日付事務連絡)
4. 【連絡】専修学校における遠隔授業の取扱いについて (令和3年6月9日付総合教育政策局長通知)
5. 【連絡】専修学校等に係る学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ&A等の送付について (令和3年6月9日時点) (令和3年6月11日付事務連絡)

■専修学校教職員向けセミナー・イベント等の情報提供のお願い

■【予告】記事・動画ご提供のお願い

■Web ページ「専修学校 #知る専」更新のお知らせ

■リレーコラム [谷口 優 (株式会社宣伝会議 出版担当・取締役 社会情報大学院大学 准教授)]

Z世代の価値観を捉える「パーパス・ブランディング」とは？

(谷口 優 (株式会社宣伝会議 出版担当・取締役 社会情報大学院大学 准教授))

マーケティングの世界では今、デジタルネイティブであるのはもちろん、スマホネイティブ、SNS ネイティブのZ世代(1990年代後半から2012年生まれ)が消費の主役として注目されています。皆さんが接している学生の方たちは、まさにこのZ世代だと思います。

この世代にはデジタルリテラシーの高さだけでなく、社会課題に対する関心が高いという特徴もあります。例えば、SDGsに関する認知度は10代が最も高い(男性:75.9%/女性:72.2%)という結果もあります【電通発表「SDGsに関する生活者調査」】。

皆さんは、教育や学校プロモーションに際して、このZ世代の価値観を踏まえたコミュニケーションが求められているわけですが、彼ら・彼女たちが重視することのひとつに「組織のパーパス」があります。単純に日本語に訳せば「目的」となりますが、ここでいうパーパスとは、なぜその組織が社会に存在する必要があるのか?その「理由」のことです。

若者たちは学校を選ぶ際、そして就職先を選ぶ際、このパーパスが明確であることはもちろん、それが自分の価値観に合っているかを重視する傾向が強まっていると言われていています。パーパスがあるからこそ、組織はステークホルダーとの関係を強固にするための求心力を維持できるという考え方です。

いきなり「パーパスで学校を選ぶ」ということにはならないかもしれませんが、就職指導の面におい

ては、学生さんは社会課題に対する意識、自分の価値観と合う存在意義をもった組織への就職を希望されるケースは今後、増えていくと思います。

自分が選ぶ職業・職能の社会における存在意義とは何か？といったことにも重視するようになるでしょう。コロナ禍において、厳しい状況が続く飲食や観光業界などを見ると、専門職に就くことが、逆に社会環境の激変に対応しづらい側面も見えてきたからです。

オーストラリアの企業のこんな事例を聞きました。イベントの舞台製作を手掛ける Stagekings という会社は、コロナ禍を受け 2020 年 3 月にその年の全ての仕事と収入を失ったそうです。しかし、職能を生かして工具を使用せずに組み立てられるホームオフィス用家具のデザインと製造に事業ドメインを変え、3 カ月で約 1 万個の製品を販売し、全従業員を再雇用することができたとのこと。

専修学校選び、あるいは専修学校の学びの中においても、表面的な「職業」ではなく、その職業を通じて提供しうる価値の本質を考える機会があってもよいのではないだろうか、と考えます。

■本日の事業成果紹介 [専修学校における先端技術の利活用とは？]

本項目では毎回、文部科学省より委託された専修学校関連の事業成果を紹介しています。

第 5 回の本日のテーマは「専修学校における先端技術の利活用」です。

VR/AR 等の先端技術を専修学校教育に活用することにより、教育効果の向上、産業との接続の強化、人材を介した地域産業けん引が期待できます。令和 2 年度事業では、専修学校における先端技術利活用のユースケースや普及・定着方策（骨子）の作成、新たな先端技術の開発動向や活用事例のリサーチ等を行っていますので、ご紹介いたします。

※下記 URL をクリックすると受託者である株式会社三菱総合研究所のページに遷移します。

○報告書

https://www.mri.co.jp/knowledge/pjt_related/senshuugakkou/dia6ou0000020y31-att/2020_edu04_01.pdf

○専修学校における先端技術利活用普及・促進方策（骨子）

https://www.mri.co.jp/knowledge/pjt_related/senshuugakkou/dia6ou0000020y31-att/2020_edu04_02.pdf

○専修学校における先端技術利活用に係る参考事例

https://www.mri.co.jp/knowledge/pjt_related/senshuugakkou/dia6ou0000020y31-att/2020_edu04_03.pdf

※今回ご紹介した事業は下記です。

令和 2 年度「専修学校における先端技術利活用実証研究（分野横断連絡調整会議）」

■文部科学省からのお知らせ

1. 【重要】新型コロナワクチン職域接種の受付開始について

前回のメールマガジンでは職域接種の要望確認についてお伝えしましたが、今回は職域接種の申請が

開始されましたので申請手続き等についてお知らせします。

職域接種の申請については6月8日から内閣官房の申請フォームから受付を開始しております。各専修学校で職域接種を実施する場合は所管の都道府県に報告後、下記 Web 入力フォームに入力をお願いします。

Web 入力フォーム：https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/shokuiki_sesshu.html

専修学校においても企業や大学等と同様に、1,000名以上の接種対象者の確保、医療従事者を含む接種体制構築、会場確保などの条件を満たせば申請が可能となっています。

また、各専修学校等における職域接種の実施にあたり、国内におけるワクチン接種の加速化を図る観点から、自校の教職員・生徒のみならず、その対象を拡大していく必要があると考えています。つきましては、専修学校等におかれては、以下のいずれかの者への接種拡大について、関連する自治体と協議の上、御検討いただければと思います。

- 自校以外の大学等・専門学校の教職員・学生等（ワクチン接種を義務化している海外の大学に、学位取得を目的とした留学を予定している者で、文部科学省より接種対象者として要請した者を含む）
- 近隣の幼稚園，小・中・高等学校，特別支援学校，専修学校などの教育関係職員
- 近隣に所在している住民 等

※ ただし、各専修学校の所在地によっては、地理的な問題等により、上記の接種拡大を図ることが困難な場合も考えられます。そのような場合には、都道府県や市区町村からの要請内容を踏まえ、柔軟な対応も考えられるため、個別に都道府県等にご相談ください。

なお、ワクチン接種は希望する者のみに実施されるものであり、被接種者等の同意が必要となります。

ご不明な点は所管の都道府県にお問い合わせください。

2. 【共有】日本医師会「新型コロナワクチン接種人材確保相談窓口」を活用した医療人材の確保について

専修学校が主体となって実施する新型コロナワクチンの職域接種を実施するため、前提となる医療人材の確保が困難であるとの相談が各都道府県等に寄せられていると伺っているところですが、日本医師会が令和3年6月9日に設置した「日本医師会「新型コロナワクチン接種人材確保相談窓口」」（以下、「医師会相談窓口」という）を活用し、医療人材確保に活用いただくようお願いいたします。

=== 「医師会相談窓口」の活用手順 ===

① 「医師会相談窓口」HPより問合せフォーム入力

団体名、所在地、相談内容（選択式 医師・看護師の紹介、職域接種に関する相談）などを問合せフォームに入力し送信。

問合せフォーム送信後、日本医師会担当者より電話又はメールで専修学校等へ連絡があるので詳細な条件等を調整（雇用条件など）。

② 医師・看護師の紹介

医師は日本医師会女性医師バンク、看護師は日本看護協会 e ナースセンターより、それぞれ専修学校等に紹介。

③ 専修学校等と医師・看護師間で雇用契約等

- 「医師会相談窓口」のトップページ : <https://www.jma-covid.jp/>
- 「医師会相談窓口」への問合せフォーム : <https://www.jma-covid.jp/entry/96bc58eb-44a8-4c29-a430-a86835b4ab4c/>

◆専修学校等が自らワクチン接種を実施する場合、医療機関登録（診療所開設）が必要です！！

体育館や講堂などでワクチン接種を実施する場合、改めてワクチン接種を実施する場所を医療機関登録する必要がある場合がありますので、必ず専修学校等を管轄する保健所へご相談いただくようお願いいたします。保健所にご相談する際、「ワクチン接種会場のレイアウト」「人員配置（医師・看護師、会場運営スタッフ）」「ワクチン接種による副反応対応やワクチン等の管理体制」を専修学校等で予め固めておけば、保健所担当者も指導助言ができ手続き等もスムーズです。

厚生労働省より、頻繁に自治体や医療機関などに事務連絡が発出されており、6月14日には「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて（その4）」（事務連絡）が発出されており、コロナワクチン接種の実施に当たり、新たに一時的に開設される診療所の手続き緩和がされることとなりました。（自治体により取扱いが異なる場合があることに留意）

このように刻々と状況が変化しておりますので、専修学校等の所轄庁である各都道府県等及び専修学校等の皆様におかれましても適宜、厚生労働省 HP をご確認くださいませようをお願いいたします。

厚生労働省 HP に地方自治体宛の事務連絡を掲載したページ URL :
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00214.html

3. 【連絡】専修学校における抗原検査簡易キットの活用について（令和3年6月17日付事務連絡）

感染状況が依然として予断を許さない中、政府としては、咳や咽頭痛等の軽症状がある生徒や教職員に対して、迅速かつ簡易に同感染症の検査を実施することができる抗原検査簡易キットについて、利用を希望する各専修学校への配布を行うこととしております。

この度、当該キットの使用手順等をお示しするため、「専修学校における抗原検査簡易キットの活用の手引き」を作成いたしましたので、標記事務連絡にて周知しております。

本手引きを御確認いただいた上で、キットの利用希望がある専修学校におかれては、配布に当たって必要となる情報について、標記事務連絡の回答URLから御回答をお願いします（令和3年6月24日（木）厳守）。

詳細につきましては、当該事務連絡をご参照ください。

これまでのクラスターの発生状況や各都道府県等から当省への専修学校及び各種学校の感染報告の状況等を踏まえ、特に、留学生が多い専門学校を中心に、クラスターの発生が懸念される専修学校等におかれては、重点的な取組（抗原検査簡易キット等を活用した積極的な検査等の実施）をお願いします。

4. 【連絡】専修学校における遠隔授業の取扱いについて（令和3年6月9日付総合教育政策局長通知）

令和2年12月22日に規制改革推進会議において取りまとめられた「当面の規制改革の実施事項」において、災害を含めた非常時に、対面授業に相当する効果が得られるとされる状況であれば、オンラインを活用した教育を実施した場合に、特例の授業として認めるとされたことや、デジタル時代にふさわしい仕組みとして、教育現場におけるICTを活用した新たな取組が学生の希望等に応じた形で行われるよう、その内容の一層の充実のための具体的な検討を行い、令和2年度中に政府として取りまとめる

こととされたことを踏まえ、このたび、大学等における遠隔授業の取扱いが整理されました。

当該整理を踏まえ、専修学校における遠隔授業の取扱いを整理いたしましたのでお知らせします。

本通知はコチラに掲載（文部科学省HP）：https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00017.html

5. 【連絡】専修学校等に係る学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ & A等の送付について
(令和3年6月9日時点) (令和3年6月11日付事務連絡)

令和3年6月9日付け3文科教第283号「専修学校における遠隔授業の取扱いについて」において、専修学校における遠隔授業の取扱いについて通知したところですが、同通知3. その他において、「遠隔授業の実施方法・形態として様々なものが考えられることから、具体的な取扱い例について」お示しさせていただきたくとしており、このたび、その具体的な取扱い例について取りまとめましたのでお知らせいたします。

なお、今後も必要に応じ、具体的な取扱い例について整理し、別紙Q & Aを更新させていただくことがあることを併せて申し添えます。

本事務連絡はコチラに掲載（文部科学省HP）：https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00017.html

■専修学校教職員向けセミナー・イベント等の情報提供のお願い

本メールマガジンでは、専修学校教職員に広く役立つセミナーやイベントのご紹介を予定しています。もし貴機関が主催されるセミナー・イベントで、掲載のご希望がありましたら、是非下記からお知らせください。

<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

※内容によっては、文部科学省と協議の上、お断りさせていただく場合もございます。予めご了承ください。

■【予告】記事・動画ご提供のお願い

今年度、以下の記事・動画の募集を行う予定ですので、ご協力いただける専修学校様におかれましてはご準備いただけますと幸いです。なお、記事や動画の投稿のご準備に当たっては、個別の学校や学科の紹介に重点を置いた内容でないこと等、各投稿規程をご参照 (<https://shirusen.mext.go.jp/contents/>) ください。

- ・webサイトに掲載させていただく卒業生インタビュー記事の投稿
- ・webサイトに掲載させていただく学校の取組紹介記事の投稿
- ・卒業生インタビュー動画（5分以内）のご提供
- ・中高生等に専修学校の魅力や特色ある教育活動（例えば、実習の工夫や企業との連携や職業実践専門課程の取組など）を紹介する動画（5分以内）のご提供

なお、記事については6月後半以降に随時、動画については7月中に受付を行う予定となっております。詳細が決定しましたら、知る専ポータルサイト上のほか、このメルマガでもご案内いたします！

■Web ページ「専修学校 #知る専」更新のお知らせ

メルマガ前号の配信から、Web ページ「専修学校 #知る専」にて以下を更新しました。

- ・ 仕事記事 (3 件)

<https://shirusen.mext.go.jp/interview/>

なお、メルマガ配信のタイミングにより、上記に掲載されていない更新もございます。あらかじめご了承ください。

本メールマガジンの配信停止を希望される場合は、以下のお問い合わせからご一報ください。

<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

★=====★

【専修学校 #知る専 事務局】

株式会社三菱総合研究所

(担当：久田、久保寺、山野内、沼田)

〒100-8141

東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

Web ページ : <https://shirusen.mext.go.jp/>

Twitter : https://twitter.com/senshu_shirusen

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCzqZYCFzxM0zrfAHToeNVXA/featured>

★=====★